

ご自由にお持ちください

社会医療法人大雄会 広報誌

つながる医療

大雄会の専門家に
聞いてみよう！

前立腺がん

について

たかぎ

きみあき

社会医療法人大雄会
泌尿器科 診療部長

高木 公暁

前立腺がん

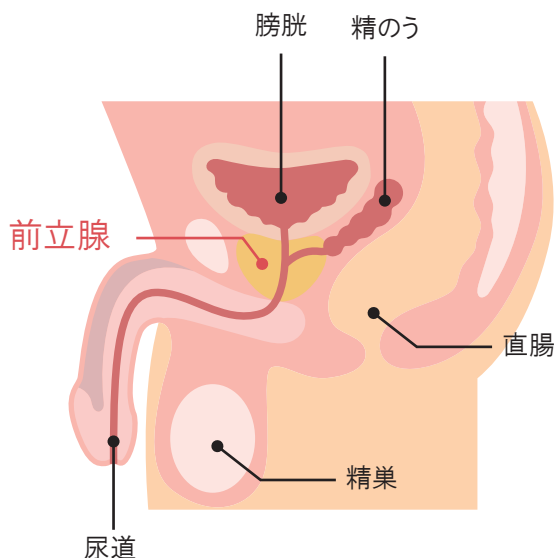
について

高齢化に伴い、患者数が増えつつあるのが「前立腺がん」です。2019年の統計では、男性が発症するがんの部位別罹患数で第1位であり、年々増え続けています。

今回は前立腺がんについて、社会医療法人大雄会 泌尿器科の高木公曉医師が解説します。

1 前立腺がんはどんな病気ですか？

前立腺は男性にある生殖器官の一つで、膀胱の下にあります。大きさは15〜17ml程度で、クルミ様の形・大きさです。男性ホルモンの影響を受け、加齢とともに増大します。主な機能は、精液の一部となる前立腺液を分泌し、その働きを助けることです。前立腺に発生するがんが前立腺がんです。



前立腺は、膀胱のすぐ下に尿道を取り囲むように位置しています

2

前立腺がんの主な特徴について 教えてください

前立腺がんの特徴として、

- 50歳代以降に多い病気である
- 死亡する人の割合は、その他のがんと比べてあまり高くない
- 男性ホルモンの影響を受けるため、薬物療法（ホルモン療法）が効きやすいなどがあります。

症状は主に三段階に分けられます。第一段階（初期）では、**自覚症状は現れません**。第二段階（中期）では、前立腺がんが尿道を圧迫し、排尿障害を起こします。第三段階（進行期）では、血尿や尿閉および骨転移に伴う症状が現れることもあります。自覚症状を手がかりにしようとする、早期にがんを発見することはできません。**症状がなくても採血によるPSA検査を受**

けていただくことが重要です。

3

前立腺がんは早めの検査が 大切と聞きましたが…

前立腺がんはPSA検査（前立腺がんを発見するための血液検査）で簡単にチェックが可能です。前立腺がんと診断されたくない、治療を受けたくないの思いから、PSA検査を受けることをためらう方も多いと思います。

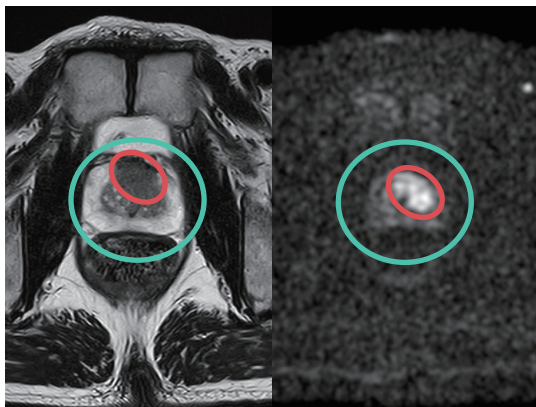
しかし、初期の段階では自覚症状が現れにくく、有効な予防手段も確立されていない現状では、早期発見が極めて大切です。がんが前立腺にとどまっている段階で発見できれば、多くの場合、根本から完全に治すことが可能で、治療の選択肢が広がります。

PSA値が4.1 (ng/ml) 以上の場合や、直

前立腺がんの進行と 治療法について教えてください

前立腺がんの進行度には、限局がん、局所浸潤・周囲臓器浸潤がん、転移がんがあります。治療方法には、手術療法、放射線療法、薬物療法の3つがあり、がんの進行度に応じて考える必要があります。

前立腺MRI画像

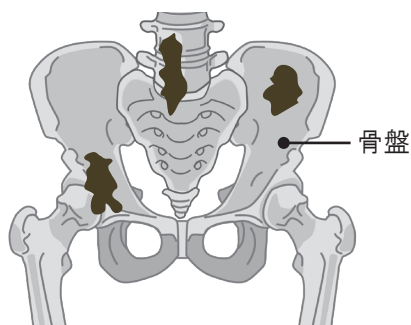


○ 前立腺 ○ がんである可能性がある部分

腸診で前立腺がんの可能性が否定できなければ、経直腸エコー、または生検針で前立腺の組織を一部採取し、顕微鏡でがん細胞の有無を調べる検査を勧めます。
また、がんの広がりや転移の有無は、CT・MRI・骨シンチグラフィなどの検査で画像診断を行います。

転移がん

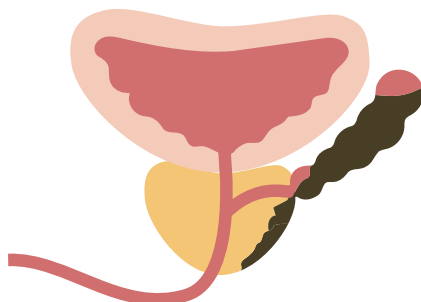
薬物療法



リンパ節や骨、他の臓器などにがんを認める状態です。転移がんの場合は、全身治療が必要なため標準的な治療は薬物療法となります。

局所浸潤・周囲臓器浸潤がん

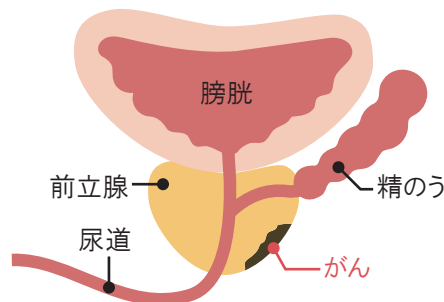
放射線療法と薬物療法



がんが前立腺を覆う皮膜を破ったり、精のうや膀胱頸部などの周囲の組織まで広がっている状態です。この場合は、放射線療法と薬物療法の併用が標準的な治療法とされています。

限局がん

手術療法または放射線療法



がんが前立腺内にとどまっている状態です。限局がんでは、手術療法または放射線療法から治療法を選択することになります。

前立腺がんに対する治療は日々進歩しており、ロボット手術や新薬など、新しい治療法も出てきています。仮にがんと診断されることがあっても、決して一人では悩まず、家族の方や医療機関と相談し、ライフスタイルも考え自分に合った治療法を選びましょう。

● **薬物療法**：内服・注射薬による治療で、外来で行います。ホルモン療法他に、抗がん剤療法、分子標的薬など、様々な薬から治療が選択できます。

● **放射線療法**：放射線による三次元照射、強度変調放射線治療（IMRT）での治療を行っています。外来で治療ができるため、日常生活を続けながら治療することができます。

● **手術療法**：従来の開腹手術、内視鏡手術のほか、手術支援ロボットの導入により身体への負担が少ない手術が可能となっています。

当院では、症状に合わせて左記の治療を行っています。

大雄会ではどんな治療を 行っていますか？

ロボット支援手術について 教えてください

ロボット支援手術とは、お腹にいくつかの小さな切開部を作り、カメラ・鉗子・メスなどの器具を中に入れて、医師の操作に従って行う手術です。

当院では、2021年12月に手術支援ロボット「da Vinci Xi(ダヴィンチ) Xi」を導入し、高度で先進的な手術を実施していきます。ダヴィンチにより、医師は鮮明な画像を見ながら、人間の手首よりはるかに大きな可動域と手振れ補正機能により、精密な手術を行うことができます。完全

に医師の操作によって実施され、医師をサポートするのがロボットの役割です。

「da Vinci Xi」

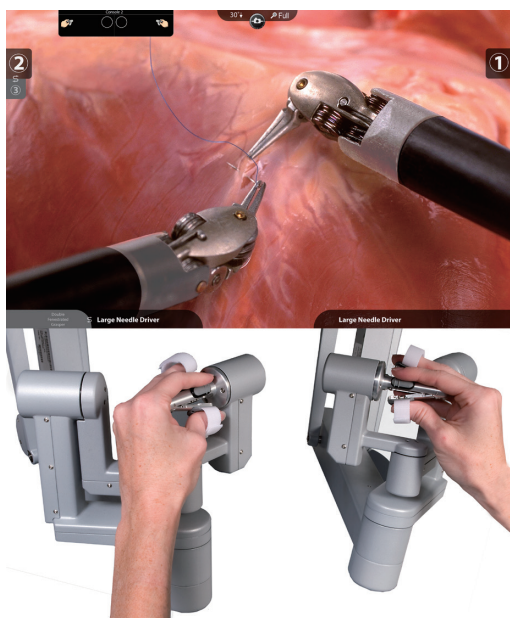


ロボット支援手術の特徴として、以下があげられます。

● **身体への負担が少ない**…数カ所の小さな切開部から手術を行うため、傷が小さく出血も抑えられます。手術後の回復が早く、患者さまの負担が軽減されます。

● **鮮明な3D画像**…高画質で立体的な3D HD画像を見ながら手術ができ、医師の手の動きとダヴィンチの手術器具の先端が連動した動きになります。

● **精密な動きを再現**…医師の手の動きを、より細かく精密な動きに変換します。



● **実績のある低侵襲ロボット支援手術**…ダヴィンチ手術は、認定資格を取得し、トレーニングを積んだ医師によって行われます。

施設紹介

総合大雄会病院

〒491-8551 一宮市桜1丁目9番9号
☎0586-72-1211(代)

大雄会クリニック

〒491-8551 一宮市大江1丁目3番2号
☎0586-72-1211(代)

大雄会第一病院

〒491-8551 一宮市羽衣1丁目6番12号
☎0586-72-1211(代) / 健診センター☎0586-26-2008(直通)

大雄会ルーセントクリニック

〒451-6003 名古屋市西区牛島町6番1号
名古屋ルーセントタワー 3F ルーセント・ウェルネスセンター内
健診センター(フリーコール)☎0800-500-1211 / 外来☎052-569-6031(代)



YouTube
はこちら



Facebook
はこちら



Instagram
はこちら



大雄会
HPはこちら



続く挑戦、未来をつむぐ。



社会医療法人
大雄会

だいゆうかい

検索

企画・発行：社会医療法人大雄会 広報課

☎ 0586-24-2565 ☒ pr1@daiyukai.or.jp